



就活のリアル

「日本とヨーロッパ、どっちがいいか、よく考えてみよう」

～日本の雇用ジャーナリストが欧州教育事情のフロと激論～



AI 導入や就活時期の早期化についての言説、終身雇用や新卒一括採用の是非等々、学生の就活や将来のキャリアを取り巻く環境は刻々と変化している。基調講演では、雇用ジャーナリストとして豊富な取材経験をもつ海老原氏に、日本の就活について独自の視点からご講演いただく。その後、欧州の職業教育に精通している名古屋大学教授の夏目氏と本学経営学部准教授の五十畑も加わり、日本の就活や雇用制度について欧州のそれらとも比較しながらパネルディスカッションを行い、議論を深める。

基調講演講師

海老原嗣生氏

中央大学大学院戦略経営研究科客員教授
経済産業研究所プロジェクトメンバー

1964年生まれ。上智大学経済学部卒業後、リコーに入社。その後、リクルートエージェントへと転職する。新規事業企画や人事制度設計などに関わった後、リクルートワークス研究所へ出向、「Works」編集長に就任する。2008年リクルートを退職後、HRコンサルティングを行う株式会社ニッチモを設立。また、リクルートエージェントのフェローとして、同社発行の人事・経営誌「HRmics」の編集長を務める。「週刊モーニング」（講談社）の転職エージェント漫画「エンゼルバンク」のカリスマ転職代理人・海老沢康生のモデルでもある。主な著書に「雇用の常識「本当に見えるウソ」「学歴の耐えられない軽さ」「課長になったらクビにならない日本型雇用におけるキャリア成功の秘訣」「若者はかわいそう」論のウソ」「就職、絶望期」「日本人はどのように仕事をしてきたか」「就職に強い大学・学部」などがある。



パネルディスカッションゲスト

夏目達也氏

名古屋大学高等教育研究センター教授

1955年生まれ。文部省大臣官房調査統計企画課専門職員、北海道教育大学助教授、東北大学アドミッションセンター教授を経て、2004年4月から現職。専門領域は、高等教育論、職業教育論。現在の研究課題は、高等教育におけるキャリア教育、大学改革のためのリーダーシップ形成・発揮など。



日時：2019年12月4日（水）16：30 － 18：00

会場：共通講義棟南 S-101

参加自由・事前申し込み不要 ●学部学年を問わずどなたでも参加できます ●学外の方の参加も歓迎いたします

主催：経済・経営学会 経営学部懇談会

問い合わせ先：経済・経営学部資料室 052-838-2057